

子どもたちの切実な“いま”を明るさのなかに描く YA エンタテインメント

『朝読みのライスおばさん』

長江優子・作 絵=みずうちさとみ

* * * * *



【内容】 ある朝、5年2組の読み聞かせにやって来た強烈な個性のおばさんは、誰の保護者なのかもわからない謎の存在だ。コースケたち新聞部のメンバーでおばさんにインタビューをすると、知らないうちに自分たちのせいで事件が起きていたことがわかる……。そこには保護者による〈読み聞かせ〉と、各自の〈自主読書〉のどちらが良いか？という問題も横たわっていた。クラス全員でアンケートをとると、皆の考えもバラバラ。皆にとって良い「解」なんてあるのだろうか？ そこから子ども達の中に様々な気づきが展開していきます。

対象：小学校高学年から YA
B6判 ハードカバー 190p
定価 1,540円（税込）
ISBN978-4-652-20659-1
発売：2024年11月25日

- ◆本を読むことについて
 - ◆「自分で考える」ことについて
 - ◆みんな自分のモノサシで考えて動いていることについて etc.を考えるきっかけに
- * 〈読み聞かせ〉作品（作者による創作）あり
* 挿画多数（みずうちさとみ）

長江優子（Yuko Nagae）

1971年、東京都生まれ。武蔵野美術大学卒業。構成作家として主にNHK/Eテレの子ども番組の制作に携わる。2006年「タイドプール」で講談社児童文学新人賞佳作を受賞し、同作にてデビュー。2021年、『サンドイッチクラブ』が第68回産経児童出版文化賞“フジテレビ賞”を受賞。他作品に『ハンナの記憶 I may forgive you』『百年後、ぼくらはここにいないけど』『ぼくのちいばっば』など。

株式会社理論社
101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-5
mail kishii@rironsha.co.jp

編集担当 岸井美恵子 tel.03-6264-8891
営業担当 河野真美 tel.03-6264-8890
営業担当 吉田明彦 tel.03-6811-7887